

令和 7 年 6 月 5 日

令和 7 年 6 月定例議会 記者発表 あいさつ

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

私の方から最近の話題に少し触れさせていただきます。

第 28 回たまの・港フェスティバルが先ごろ開催されて、雨の予報でしたが、2 日間とも好天に恵まれまして、来場者は昨年より多い 2 万 6,000 人ということで、非常に盛況だったと感じております。

メインイベントの輸送艦「しもきた」は玉野で建造された縁のある輸送艦で、約 1 万 3,000 人が乗船され大好評でした。

中には LCAC というホバークラフトも格納されていて、迫力のあるデモンストレーションを見ていただけました。

もう一つ、「玉野工場万博」という取り組みについて、地元のものづくりの企業が主催で、子どもたちを対象にもものづくりの楽しさを体感するイベントでした。日本財団の協力もいただいて、非常にユニークな取り組みができたと思っております。

たまの・港フェスティバルは、玉野最大のイベントですが、8 月に行われる玉野まつりの踊り、花火大会、これも合わせて玉野市の賑わい創出に大きく寄与するものとして、本市としてもしっかりサポートをしているところです。今年度は特にガバメントクラウドファンディングにおいて、目標 150 万円ということで、現在募っています。

民間の方も、花火についてはこれまでも協賛金という形で協力いただいておりますが、広く市民の方含めて、いろんな方から一緒に玉野を盛り上げる祭りに協力いただきたいということで、進めているところです。

まだまだ目標額には届いていません。期間は 7 月 30 日までを予定しているので、しっかり PR しつつ、皆さん方にご協力いただきたいと思います。

次に瀬戸内国際芸術祭の春会期についてです。5 月 25 日までということで、38 日間行われました。エリア全体では約 32 万人ということで、前回の 2022 よりも約 10 万人上回っています。

宇野港エリアにつきましては、約 7,800 人ということでした。前回とカウント方法が変わったということで、単純に比較はできませんが、現地の感覚によれば、前会期よりエリア内の人出、人流は多かった、とのこ

とです。

宇野港周辺に作品も増やし、パワーエックス、深山公園にも作品を設置して、そこに循環バスを走らせたということもあり、循環バスの利用が約1,700人。アンケート結果からも、非常に満足度が高かったことが伺えました。夏会期・秋会期と続けていきたいと思っております。

直島町とも連携し、島内等にあるサイネージに宇野港エリアの情報を掲示するというので、オーバーツーリズム対策を図りました。

夏会期は8月1日から始まりますが、夏の猛暑が年々激しくなっているため、熱中症対策をしていこうと思っています。

宇野港周辺でも、周辺施設の発信を行い、休憩所を設けて涼んでもらうことを考えております。

いずれにしましても、瀬戸芸、アートをきっかけに、玉野の魅力を発信していこうと思っています。

今議会の提出議案につきましては、補正予算、条例等の議案であります。が、予算につきましては、1億7,300万円あまりということで、定額減税の調整とか、コミュニティ、消防団への活動助成など、国などの財源によるものがメインであります。

条例等の議案につきましては、税条例など、これも国の法津、制度改正に伴うものが主で、その他、国保の負担総額の決定といった議案もあります。詳細につきましては、このあと担当からご説明いたします。

私からは以上です。